

## ③ 市場調査の一例

西平重喜

いままで、余り市場調査 (Market Survey) についての報告がないから、一つの実例について書いてみた。

しかしこの費例において、私自身は会社の外の者として、実際の調査についての会議は参加したわけではなく、友人を通して、アイデアを提拱し、会社とは関係なしに回答紙を借りて効果を試したに過ぎない。

そこで基礎資料を集めることも、見せてもらうこともできなかつた。

会社自身がこのようにせつかくやつた調査を活用しないのは、まばら“商売はカンとカケヒキだ”とゆう觀念をもっているからだらう。

私がこゝで書きたいことは、せつかくやるなら考えてやれ、そうすればこれだけの成果があがるとゆうことである。

計画からレポートを書き上げるまで、林所員のお世話になつた。また水野所長に注意をうけたし、集計や計算は鈴木三千代さん、小島嘉江さんに助けてもらつた。

### 調 査 方 法

この調査はある出版社のポケット版60頁内外のインテリ向き双書 (既刊約100冊) の中で、A (社会に關係した解説書)、B (科学者についての通俗的な傳記) の2冊について行われた。

著者や本の名、双書の名を、会社の秘密保持のため挙げられないのは残念である。

調査はA, Bに第一表のやうな, “読者カード”をはさんだ。その枚数は次の通り,

書名	発行部数	官製ハガキ	私製ハガキ	はさまないもの
A	10,000	4,000	4,000	2,000
B	10,000	4,000	4,000	2,000

すなわち, 同じ調査事項を, 官製ハガキ(料金は会社負担となる)と, 私製ハガキ(料金は読者が拂う)とに印刷し, 1冊おきにはさんだ。

この一冊おきにはさむことを, 製本屋にまかせてはいらかげんにされるので, 社員が製本屋に出張してやった。これらの調査カードをはさんだ, A(8000冊), B:(8000冊)を日本出版配給会社その他の配本ルートにのせ, 残りぬ 2000冊づつは会社直接扱いとして保留した。

この保留分は売切れた本屋や, 配給ルートにたよらない有力な本屋, それに直接注文をする熱心な読者に当てられたのであるから, この方が回収率も高かつたろうし, そのため結果にゆがみを生じたこと、思はれる。

第1表のように, 表面(キツテをはる方)には下の方に, 読者の基礎項目を記入してもらった。

## 結果の集計と分析

以下で分析するのは, AかBを読み, それについて意見をもち進んで返信をしたものについてであるから, 母集団は一種の Opinion giver に限定されている, 全読者を対象としてはいない。

### 到着日

読者から送られた調査カードが会社について日を, 到着日と呼ぶことにする。会社では到着日と, 到着番号を書き入れておいた。

御住所、御芳名、 御職業（なるべくくわしくお書き下さい） 御年齢		<input type="checkbox"/>	
		本誌の広告を御覧になつた新聞名 御字歴	
御求めの田	御求めの書店名	東沢郡 × × 町 × × 番地	風 × × 町 × × 番地
御読みになつた日	御字歴	東沢郡 × × 町 × × 番地	風 × × 町 × × 番地

(表)

第一表

読者調査カード (A) 本書をお求めになつた動機(○印をかつけ下さい) 1. 著者にひかれて 2. 題名にひかれて 3. 人にすすめられて 4. 書店で一寸見て 5. この文庫を全部集めていたので 本書をお読みになつてどうお思ひになりましたか。 1. ためになつた。 2. 別は感想なし 3. つまらない。 4. 別の著者(例へば、 )に書いてもらいたい。 5. この著者に他の題目(例へば、 )を書いてもらいたい 本書の書方について 1. 甲分ない 2. 普通 3. 言葉がむづかしい 4. 文章がむづかしい どこでお読みになりましたか 1. 車中で 2. 机に向つて 3. 寝ころんで 4. 休憩時間に かなづかいについて 1. 新かなづかいがよい 2. 旧かなづかいがよい 3. どちらでもよい	今後希望する著者	この双書でお読みになつた書名 今後新刊案内をほしいあげ
--	----------	--------------------------------

(裏)

この到着日を各週間（日曜日から土曜日まで）または旬毎にまとめたのが第2表である。

第5週以後官製（ハガキ）は私製（ハカキ）の約3倍返えつて来る。

この官製と私製の返信率の比（すなはち約3）は、AでもBでも有意差をみとめられない。

これをグラフに書いたのが第1図で、縦軸の%は4000枚に対する返送率であつて、売上高、発行高に対するものではない。

到着日を八つの地方にわけてみたのが、第3表である。

TとゆうのはAとBを合わせた（total）表である。

Bでたゞ一つの例外があるが、北海道、九州では第4週にならないと返えつて来ない。このTについて各地方毎に累積の%を出したのが第4表で、これをグラフにしたのが第2図。

この第2図でみると、北海道・中国・四国・九州は出足が悪い。

北海道は第5週で追付き、九州は第11週、中国は第15週、四国は第20週をこえてもおくれている。

この中国・四国・九州を一まとめにし、他の地方を一まとめにしたものが、同じように（到着日について）返つて来るかどうか $\chi^2$ 検定をすると、この仮設は棄てられる。すなわち、中国・四国・九州は返つて来るまでに日数がよけいかる。

この返信には別にしめ切りがなく、現に今でもぼつぼつ返つて来ているので、この結果は多少変わるかもしれない。———他の分析も昨1949年末現在であるが、他のことは到着日により、そんなにゆがまないだろう。———それに、この結果の原因として配本機構や、読書熱なども、もう少ししらべたら分かるかもしれない。

早く返辞をよこした人と、あとからよこした人との意見や、基礎項目の違いは興味がある。しかし上のように、会社から離れたところからの返信はおくれるので、われわれの集計にあらわれないと思う。事実、到着日と年令との相関表（第5表）をみても、週による年令の変化はあらわれていない。また“どこで読んだか”との相関表（第6表）をみると、どの週でも“車内”、“枕”の人数がほとんど等しいし、他の場所で読んだ人数も一定の傾向を見せていない。

第 2 表

A			B		
発 売 日 目	官	私	発 売 日 目	官	私
7 <sup>日</sup>	3	2	7 <sup>日</sup>	9	2
14	43	20	14	59	13
21	88	34	21	99	22
28	168	57	28	173	51
35	235	81	35	230	76
42	291	97	42	266	91
49	341	112	49	307	105
56	375	124	56	329	116
62	406	138	62	350	129
77	461	152	77	405	146
87	490	158	87	419	152
97	522	168	97	442	158
107	533	177	107	463	164
117	554	187	117	486	167
127	563	189	127	491	170
138	572	196	138	500	174
148	585	197	148	508	176
152	592	200	152	511	176
158	596	202	158	517	178
168	607	203	168	523	182
178	612	205	178	529	185

第 3 表 丁

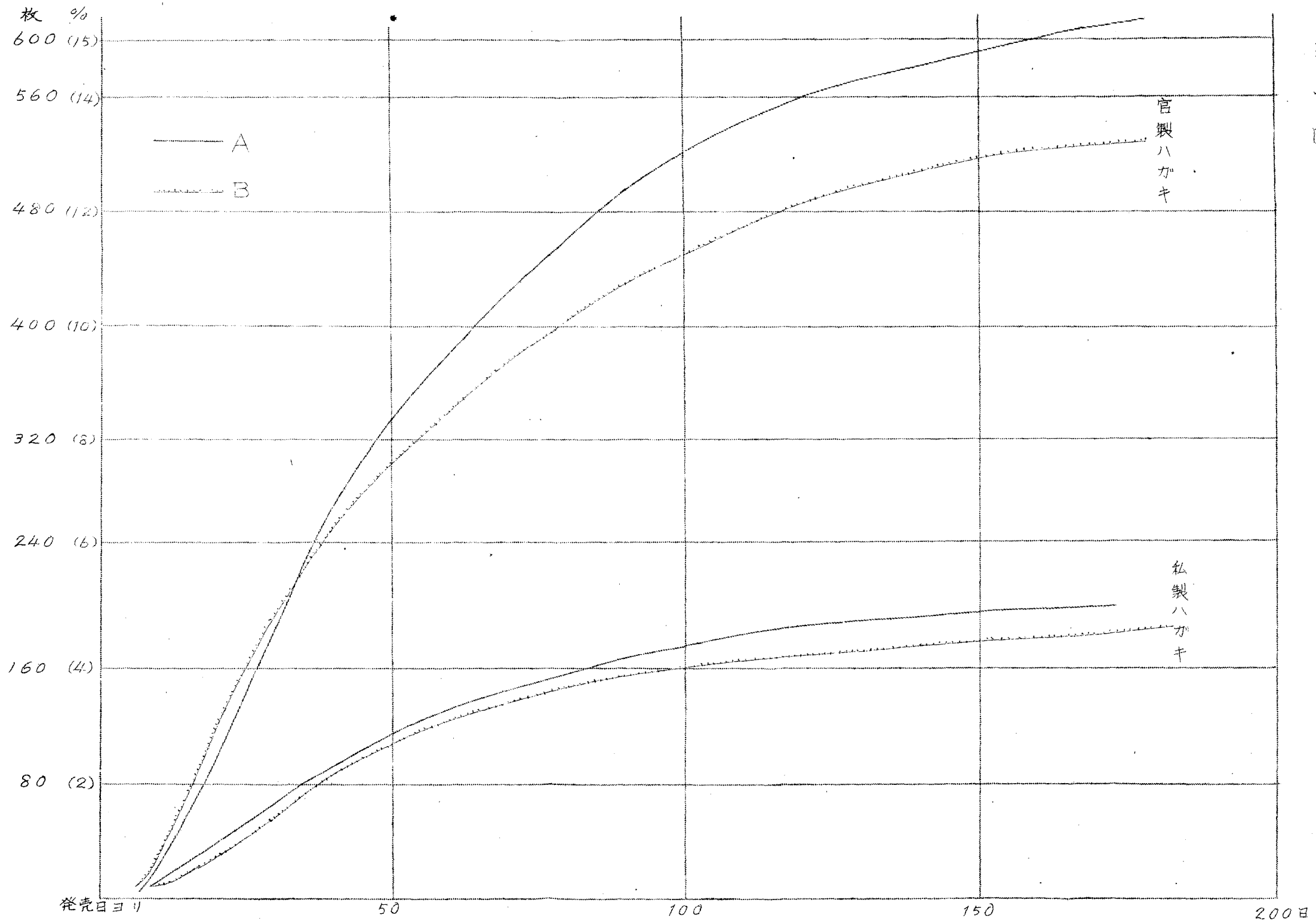
	北海道	東北	関東	東	中部	近畿	中国	四国	九州	不明	計
1			16	16							16
2	1	9	74	58	16	16	32	32	2	2	136
3		24	15	104	30	40	24	57	25	15	245
4	14	13	42	18	147	43	68	28	109	52	446
5	30	16	53	11	202	55	98	30	142	33	623
6	38	8	68	15	226	24	121	23	169	27	745
7	45	7	73	5	250	24	141	20	193	24	863
8	46	1	77	4	275	25	154	13	211	18	946
9	54	8	83	6	296	21	168	14	231	20	1058
10	57	3	86	3	315	19	176	8	241	10	1106
11	59	2	87	1	329	14	184	8	252	11	1164
12	60	1	92	5	337	8	187	3	258	6	1198
13	61	1	94	2	360	23	196	9	269	11	1262
14	63	2	95	1	368	8	197	1	276	7	1297
15	65	2	96	1	377	9	204	7	280	4	1327
16	66	1	100	4	393	16	208	4	292	12	1376
17	68	2	106	6	397	4			298	6	1400
18	69	1			398	1	210	2	300	2	1408
19			107	1	401	3	212	2	302	2	1419
20	70	1	110	3	407	6	217	5	305	3	1444
21			111	1	413	6	221	4	311	6	1466
22	71	1	112	1	420	7	226	5	314	3	1489
23					227	1	315	1			1491
計	71	112	420	227	315	118	56	167	5	1491	

註、イタリックは累積

第 3 表 A

週	地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	不明	計
1				5							5
2			3	29	8	16	1			1	58
3			6	16	13	16	7	1			59
4	4	9	24	16	27	5	4	12	1		102
5	5	6	39	16	12	6	2	8			94
6	3	4	19	15	13	5	2	9	1		71
7	5	4	10	9	14	7	4	12			65
8		1	17	8	14	3		6			49
9	5	4	11	6	14	3	1	6			50
10		2	12	3	5	5	1	3			31
11	2		8	3	7	4	4	2	1		31
12	1	3	6	1	4	2		5			22
13		2	13	5	7	5	4	3			39
14	1	1	5		5	3	1	3			19
15	1	1	5	4		1					12
16	1		7	2	9	2		2	1		24
17		2	4		6	1	1	2			16
18			1		1						2
19		1	1	2	2		1	1			8
20		3	5	3	2			1			14
21		1	6	2	3		1				13
23		1	5	2	2	1	3	1			15
24											
計		28	54	248	118	179	61	30	76	5	799

(五)



第一圖



第 3 表 B

地方 週	北海道	東北	関東	中部	近畿	中國	四國	九州	不明	計
1			11							11
2	1	6	29	8	16	1	1			62
3		9	14	11	9	6	1			50
4	9	9	19	12	25	6	3	16		99
5	11	5	16	14	21	10	1	5		83
6	5	11	5	8	14		1	7		51
7	2	1	14	11	10	4	3	8		53
8	1	3	8	5	4	2		11		34
9	3	2	10	8	6	6		7		42
10	3	1	7	5	5	3	3	10		37
11		1	6	5	4	1	1	9		27
12		2	2	2	2	1	2	1		12
13	1		10	4	4	4	2			25
14	1		3	1	2	5	1	3		16
15	1		4	3	4		2	4		18
16		4	9	2	3	2	4	1		25
17	2	4				1		1		8
18	1			2	1	2				6
19			2					1		3
20	1		1	2	1			6		11
21				2	3	2	1	1		9
22	1		2	3	1	1				8
23				1	1					3
	43	58	172	109	137	56	26	91		692

第 4 表

%	北海道	東北	関東	中部	近畿	中國	四國	九州	不明	計
1			3.8							7.1
2	1.4	8.1	17.6	7.0	10.1	1.7	1.8			49.1
3		21.5	24.8	17.6	18.0	12.8	5.4			116.4
4	19.7	37.6	35.0	30.0	34.5	22.2	17.9	16.8		229.9
5	42.3	47.5	48.1	43.2	44.9	35.9	23.2	24.6		441.8
6	53.5	60.9	53.8	53.3	53.5	40.2	28.6	34.1		550.0
7	63.4	65.4	59.5	62.1	61.1	49.6	41.0	46.1		577.9
8	64.8	69.0	65.5	67.8	66.8	53.4		56.3		633.4
9	76.1	74.3	70.5	74.0	73.1	61.5	42.9	64.1		699.6
10	80.3	77.0	75.0	77.5	76.3	68.4	50.0	71.9		774.2
11	83.1	77.9	78.3	81.0	79.7	72.6	58.0	78.4		778.1
12	84.5	82.4	80.2	82.4	81.6	75.2	62.5	82.0		800.3
13	85.9	84.2	85.7	86.3	85.1	82.9	73.2	83.8		844.6
14	88.7	85.1	87.6	86.8	87.3	88.9	76.8	87.4		870.0
15	91.5	86.0	89.8	89.9	88.6	89.7	80.4	89.8		890.0
16	93.0	89.6	93.6	91.6	92.4	93.2	87.5	91.6		923.0
17	95.8	94.9	94.5		94.3	94.9	89.3	93.4		939.0
18	97.2		94.8	92.5	94.9	96.6				944.4
19		95.8	95.5	93.4	95.6		91.1	94.6		952.0
20	98.6	98.5	96.9	95.6	96.5			98.8		968.0
21		99.4	98.3	97.4	98.4	98.3	94.6	99.4		983.0
22	100.0	100.0	100.0	99.6	99.4	100.0	100.0	100.0		999.0
23				100.0	100.0					1000.0
計										

第 5 表 A

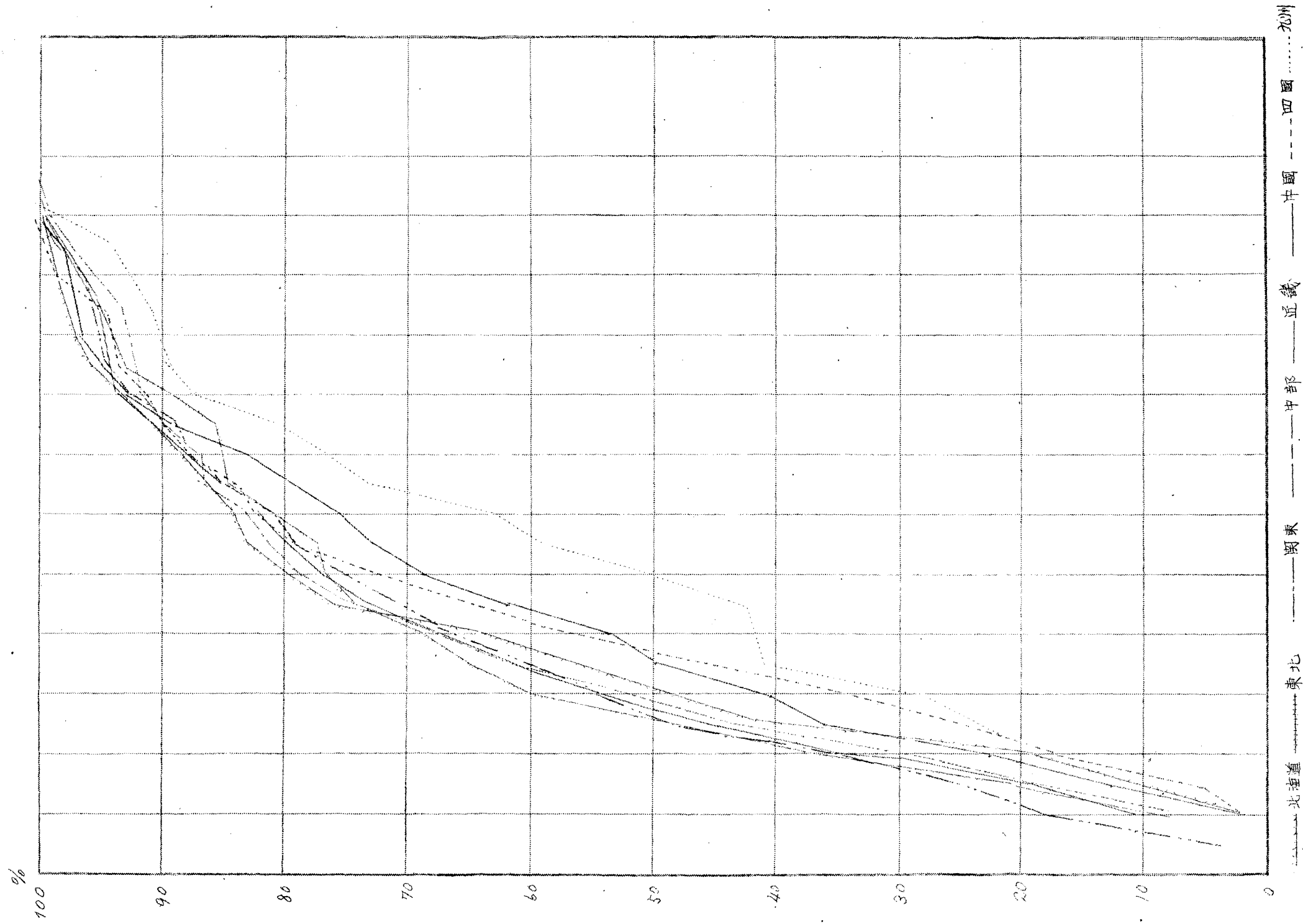
週年	~ 19	20~24	25~29	30~39	40~	不明	計
1	1	1	1	1	1		5
2	12	17	10	15	3	1	58
3	14	14	11	11	8	1	59
4	25	33	23	12	7	2	102
5	22	28	17	13	9	5	94
6	15	28	8	12	8		71
7	18	24	8	10	4	1	65
8	15	18	3	9	3	1	49
9	17	17	2	9	5		50
10	5	12	6	5	2	1	31
11	8	11	7	3	1	1	31
12	4	13	1	2	1	1	22
13	9	14	6	7	3		39
14	6	9	1	3			19
15	2	4	3	2		1	12
16	8	6	2	7	1		24
17	5	5	2	2	2		16
18	1		1				2
19		5	1	1	1		8
20	2	6	2	4			14
21	5	4	3			1	13
22	6	6	1	2			15
23							
計	200	275	119	130	59	16	799
%	25.0	34.4	15.0	16.3	7.3	2.0	100.0

第 5 表 B

週	年令	~ 19	20~24	25~29	30~39	40~	不明	計
1		2	1	3	1	4		11
2		17	23	10	5	5	2	62
3		12	17	12	2	4	3	50
4		21	36	21	16	5		99
5		18	22	13	21	8	1	83
6		16	14	10	6	5		51
7		14	22	6	8	3		53
8		11	10	7	4	2		34
9		20	8	6	5	3		42
10		12	12	7	3	3		37
11		8	9	4	3	3		27
12		2	6		2	2		12
13		8	7	1	5	3	1	25
14		5	4	1	4	1	1	16
15		7	6	2	1	2		18
16		7	4	3	6	4	1	25
17		1	4	1	2			8
18		1	2	1	1	1		6
19		1	2					3
20			5	1	1	2	2	12
21		4	2	1	1	1		9
22		2	3		3			8
23			2					3
計		189	221	110	100	61	11	692
%		27.4	31.9	15.9	14.4	8.8	1.6	100.0

(七)

第2圖 地方別返信率の累積



第 6 表 A

	<sup>1</sup> 車内	<sup>2</sup> 机	<sup>3</sup> 寝	休憩	1+2	1+3	1+4	其他	計
1	2	1		2					5
2	11	15	9	8	7	2	2	4	58
3	14	14	6	8	5	1	3	8	59
4	27	27	12	14	3	3	5	11	102
5	18	26	14	10	2	4	9	11	94
6	17	18	15	4	7	1	3	6	71
7	12	9	10	14	6	2	2	10	65
8	9	12	10	6	3	0	6	3	49
9	11	14	9	5	3	1	2	5	50
10	8	9	5	2	1	3	1	2	31
11	8	8	5	2	2	1	3	2	31
12	4	4	4	3	4			3	22
13	10	10	4	5	3	2	2	3	39
14	3	9	2	4				1	19
15	1	4	2	2	1	2			12
16	9	6	1	3	2		2	1	24
17	4	4		4		1		3	16
18	1	1							2
19	2	2	2	2					8
20	2	4	1	4	2			1	14
21	5	4		1		2		1	13
22	5	5			1		2	2	15
23									
計	183	206	111	103	52	25	42	77	799

第 6 表 B

週	<sup>1</sup> 車内	<sup>2</sup> 机	<sup>3</sup> 腹	<sup>4</sup> 休	1+2	1+3	1+4	其の他	計
1	4	4		1			1	1	11
2	15	15	7	8	4	3	2	8	62
3	13	14	5	9		2	1	6	50
4	25	20	17	20	3	3	3	8	99
5	26	15	10	15	4	2	3	8	83
6	9	11	12	8	3	2	2	4	51
7	11	11	15	10	1	3		2	53
8	5	12	6	3	1	1	2	4	34
9	5	7	12	7	2	1	4	4	42
10	11	10	6	7	2			1	37
11	9	4	3	5	1	2		3	27
12	5	1	1	2			1	2	12
13	5	4	3	3	2	1		7	25
14	4	3	2	3	1	1	1	1	16
15	2	5	3	3	3	1		1	18
16	6	8	6	1	2			2	25
17		5	1	1	1				8
18	1	1		3				1	6
19	2							1	3
20	2	2	2	2		1		2	11
21	2	2	1	1				3	9
22	3			1				4	8
23				2					2
計	165	154	112	115	30	23	20	73	692

第 7 表

日数	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	不明	計
車内	62	39	13	9	6	8	1		12	15	165
机 <sub>2</sub>	66	40	16	9	3	3	1	2	9	5	154
寝 <sub>3</sub>	55	25	8	5	1	4			7	7	112
休 <sub>4</sub>	35	29	15	4	3	8	2	2	6	11	115
1+2	2	7	2	1		2	1		3	12	30
1+3		6	4	2	3				1	7	23
1+4		6	5	4	1		1		2	1	20
その他	22	8	11	1	1	1			6	23	73
計	242	160	74	35	18	26	6	4	46	81	692

第 7 表 A

日の差 どこで	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	不明	計
車内	57	33	21	18	6	6	4	1	14	23	183
机	68	55	19	11	7	11	3	4	10	18	206
寝	45	31	10	2	4	6	1		6	7	112
休	39	19	13	4	6	9		3	2	7	102
1+2	14	7	9	2	2	1	1	1	3	12	52
1+3	13	7	2	2					1		25
1+4	11	14	5	4	1	1			2	5	43
その他	24	7	14	4	3	1			5	18	76
計	271	173	93	47	29	35	9	9	43	90	799



第 8 表

	車内 <sub>1</sub>	机 <sub>2</sub>	寝 <sub>3</sub>	休 <sub>4</sub>	1+2	1+3	1+4	その他	計
~ 19	31	60	24	36	5	6	3	23	188
20~24	47	54	40	36	13	10	8	14	222
25~29	32	16	25	19	3	2	5	9	111
30~39	34	12	16	15	6	3	3	11	100
40以上	16	11	7	8	3	1	1	12	59
不明	5	1		1		1		4	12
計	165	154	112	115	30	23	20	73	692

第 8 表 A

年令	1 車内	2 机	3 寝	4 休	1+2	1+3	1+4	その他	計
~19	30	70	19	33	15	3	8	22	200
20~24	59	65	43	42	11	13	15	24	272
25~29	40	25	18	12	8	4	6	6	119
30~39	41	26	20	11	12	5	8	9	132
40~	10	14	7	10	5		3	10	59
不明	3	3	2	1		1	2	4	16
計	183	203	109	109	51	26	42	75	798

第 8 表 A'

%	1 車内	2 机	3 寝	4 休	1+2	1+3	1+4	その他	計
~ 19	15	35	9	17	8	2	4	11	100
20~24	22	23	16	15	4	5	6	9	100
25~29	34	21	15	10	7	3	5	5	100
30~39	31	20	15	8	9	4	6	7	100
40以上	17	25	11	17	8		5	17	100

第 8 表 B'

%	1 車内	2 机	3 寝	4 休	1+2	1+3	1+4	その他	計
~ 19	16	32	13	19	3	3	2	12	100
20~24	21	24	18	16	6	5	4	6	100
25~29	29	14	22	17	3	2	5	8	100
30~39	34	12	16	15	6	3	3	11	100
40以上	26	19	12	14	5	2	2	20	100

## 年令別

年令は19才以下（最低は14才だった）、20～24、25～29、30代、40才以上の5層に分けた。

下にみるように、20～24、19以下、25～29、及び30代、40以上の間には有意の差がある。

すなわちこの順に返信が多かった。

年層	19以下	20～24	25～29	30代	40以上	不明	合計
A	200	275	119	130	59	16	799
B	189	221	110	100	61	11	692
A+B	389	496	229	230	120	27	1491
A+B(%)	26.1	33.3	15.4	15.4	8.0	1.8	100.0
順位	2	1	3	3	5		

第8表は年令層と“どこで読んだか”の相関表で、第8'表は各年令層の中でどこで読むかの%（横の%）だが、40才以上をのぞくと、大体、車内で読むものは年をとると%が増し、逆に机に向つて読むものは年をとると%が減る。

若い方では第11表からも分かるように、学生が多いので、机に向かう時間も多し。

40才以上ではこの傾向が多少くずれている。

第7表は買った日と読んだ日の差（これは読むのにかかった日数と考えられる）、とどこで読んだかの相関表だが、%をとつてみても、なにも傾向が見られない。

たゞ読むのにかかった日数の（返信全体に対する）%を出してみると、A、Bでおどろくほどよく一致している。

日の差	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	不明	計
A	271	173	93	47	29	35	9	9	43	90	799
%	34.0	21.6	11.6	5.9	3.6	4.5	1.1	1.1	5.4	11.2	100.0
B	242	160	74	35	18	26	6	4	46	81	692
%	35.0	23.1	10.7	5.1	2.6	3.8	0.8	0.6	6.6	11.7	100.0
A+B	513	333	167	82	47	61	15	13	89	171	1491
%	34.5	22.4	11.4	5.5	3.1	4.1	1.0	0.9	6.0	11.1	100.0

すなわち  $\frac{1}{3}$  の読者がその日のうちに読んでしまい、また  $\frac{1}{3}$  が2日か3日——日の差でいえば1か2——で読んでしまう。

日数がふえるに従って、人数がへつている——この差は0から4までの間では有意の差があるが、4と5では有意差がない。

### かなづかい

“新かなづかい”、“旧かなづかい”、“どちらでもよい”の三つを比べると、A、B共“新かな”が一番多く、“旧かな”が一番少ない。

年齢別にした第9表をながめると、Bの25～29歳のをのぞいて、“旧かな”より“新かな”を支持するものが多い。

19才以下では“新かな”が多く、この年齢層の者は年をとつても、大体この意見を変えないだろう。

それどころか40才以上でも“新かな”が多いのだから、この双書は“旧かな”を固執する理由はない。

たゞし調査に応ずる者は、進歩的意見の持主が多いだろうとゆうことも考へなければならぬ。

なおAは“新かな”、Bは両方まじつて、書かれている。

第 9 表 A

	新	旧	どちらでもない	不 明	計
～ 19	100	41	57	2	200
20～24	104	73	85	10	272
25～29	46	32	37	4	119
30～39	58	24	46	4	132
40～	24	10	18	7	59
不 明	7	4	5		16
計	339	184	248	27	798

第 9 表 B

	新	旧	どちらでも	無記入	計
～ 19	83	42	63		188
20～24	65	58	91	8	222
25～29	30	41	36	4	111
30～39	33	27	36	4	100
40～	17	15	21	6	59
?	4	1	5	2	12
計	232	184	252	24	692

第 10 表 A

	新	旧	どちらでも いい	不明	計
中 学	10		4		14
新 制 高	86	39	45		170
高 専 大 学	49	52	58	5	164
自 由 業	75	24	34	3	136
サ ラ リ ー マ ン	92	54	83	11	240
農	2	4	4	1	11
商	6		7	2	15
な し	11	6	12	1	30
不 明	7	2	4		13
そ の 他	2	3	1		6
計	340	184	251	23	799

第 10 表 B

	新	旧	どちらでも よい	不明	計
中 学	11	2	4		17
新 制 高	67	33	53		153
高 専 大 学	44	49	68	4	165
自 由 業	73	40	60	9	182
サ ラ リ ー マ ン	25	48	50	8	131
農	4	1	2	1	8
商					
な し	6	10	10	1	27
不 明、ソノ他	2	1	5	1	9
計	232	184	252	24	692

職業別の第1の表をみても一般に“新かな”を支持するものが多いといえるだろう。

この自由業とは、教育、研究員、医師、宗教関係者などのことである。

以上われわれは、興味ありそうなこと、また会社自身が手ぎつけなかつたことだけを兼討してみた。

まだやってみたいこともあるが、時間がないのでやめてしまった。

### 調査からの結論

上にのべた結果から結論を下すのは、会社自身であるはずだが、彼等は単に希望する着者などの人気投票しか利用していない。

私はこの結果と、前からもつているこの双書に対する考えから、次のような架空の勧告をしたい。

調査はさきにも書いたように、Opinion giver (投書癖家)の意見と存しているが、大体常識的な結果であり、読者全体の意見とみ直すことにためらいを感じない。そこで、

1. 読者層は20才前後の学生が一番多く、これはこの双書のモットーにかなつていると思う。

しかしこの双書の中でこのモットーにははずれているものがあるが、これは気をつけなければいけない。

2. 会社自身で出した結果でわれわれの手札とはデターはないが、広告費になやまされているので、意外に少なかつたX紙之の広告はひかえる。

3. 読むのにかゝつた日数は、1,2日であり、また車中で読む者が大分あるから、肩のこらない、いわゆる読み物風のものを目です。但しこれではいけないとして、もっと深刻な双書にしよう、という編集者もあるだろう。

4. “かなづかい”は“新かなづかい”に統一する。

5. 感想や、著方については、その結果をみていないから、なんともいえないが、場合によつては編集部で書きなほして、読みやすくす

る方がよいかもしれない。

6. 希望者、読んだ本などについては、会社自身大いに利用している。

以上がこの双書への勧告である。

一般的にこのような調査については次のようなことが考えられた。

1. この調査の一部に多肢選択方式を用いたので、これを使わぬときより、読者の意志表示が楽になり、返信率が高かつたようだ。

これは同じ双書の中でやったことはないが、他の単行本などで、この方法によらないものにくらべて問題にならないほど高い。(もちろん両方とも私製ハガキのとき)

これについては、確かめるための調査を一度やつておきたい。

2. この調査の大きなミソとして、官製と私製ハガキを混ぜたが、その結果は官製の方が3倍も返信された。しかしこの方法は金がかり、しかも大部分がムダになった。そこで次のような方法が考えられる。

すなわち、切手をはる場所に、“受信人様”と印刷し——別にそういう制度はないが——受取るたびに不足料として4円を拂う方法である。今度の調査では、

ハガキ	枚数	費用	回収枚数	回収率
官製	4,000	8000 <sup>円</sup>	600	15%
私製	4,000		200	5%
折込マス	2,000		0	0%
計	10,000	8000 <sup>円</sup>	800	8%

8000円かかつて800枚回収した。但し印刷費と私製ハガキの紙代は無料として。

もし不足料(4円)制度で調査すれば、1000冊全部にカードをはさんで、



回収率	回収枚数	費用(円)	(*)に於いての説明
20%	2000	8000 <sup>(*)</sup>	今度と同じ費用
15 <sup>(*)</sup>	1500	6000	官製と同じ回収率
10	1000	4000	
8	800 <sup>(*)</sup>	3200	今度と同じ回収枚数
5 <sup>(*)</sup>	500	2000	私製と同じ回収率

おそらくこの方法では、私製ハガキと官製ハガキの間の回収率を示すだろうから、8～12%と作り、回収枚数も今度のより多く、費用は今度のより少なくて済むことになる。

(1950年1月末)